

# 2022年の米国 VC 投資の概況

本稿では、Venture Monitor Q4 2022 のデータに基づき、2022年（1～12月）の米国 VC 投資動向を概観する。

## 【総括】

2022年を通年でみると、VC 投資金額は昨年に次いで既往第2位、ファンド組成額は既往ピークを記録したことなど、Exit を除く主要指標はいずれも過去最高かそれに近い水準を示している。

しかし、四半期別の数字の推移をみると、2022年の Q1 から Q4 にかけて、VC 投資をめぐる各指標は急速に減少しており、今後の動向が極めて注目される場所である。

## 1. VC 投資動向の概観

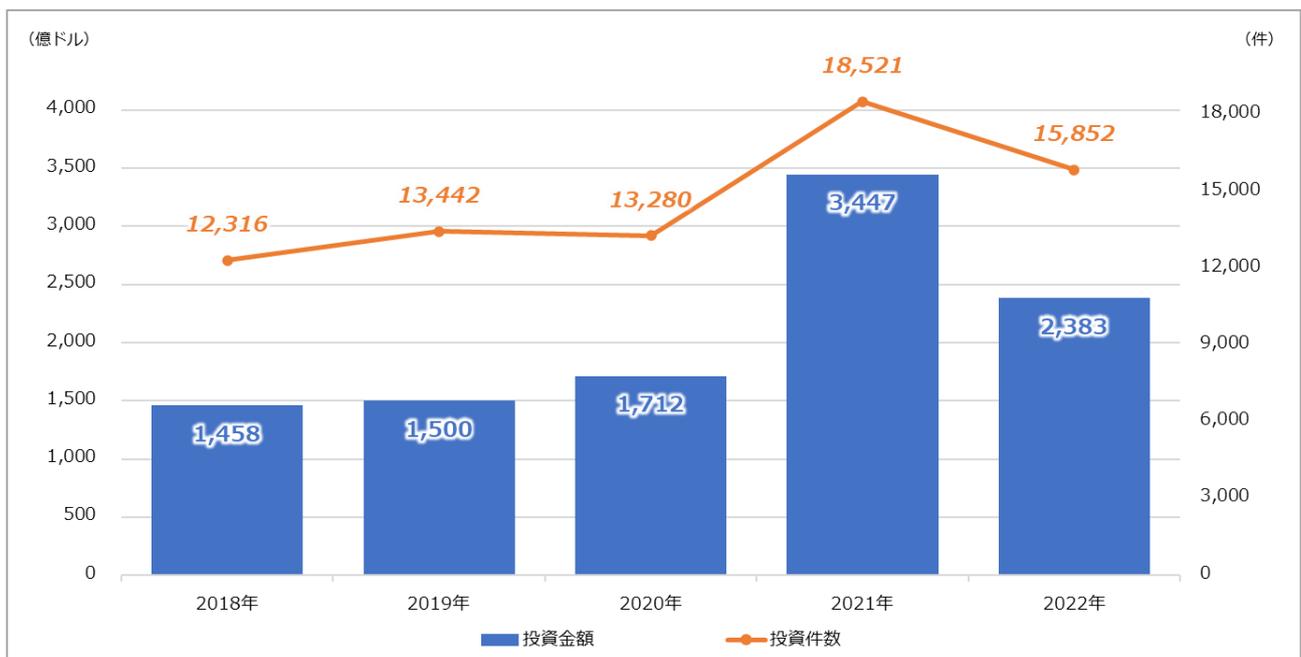
### (1) 2022年の VC 投資は金額・件数ともに前年比減少

過去5年間の2022年の米国 VC 投資の推移を図表1に示す。

2022年の VC 投資金額は2,383億ドルと既往第2位の数字を記録したものの、前年の3,447億ドルから△1,064億ドル（前年比△30.9%）の大幅減となった。

一方、投資件数も2022年は15,852件と既往第2位の水準を記録したが、前年の18,521件から△2,669件（前年比△14.4%）の減少となった。

図表 1 年間 VC 投資推移（2018年～2022年）



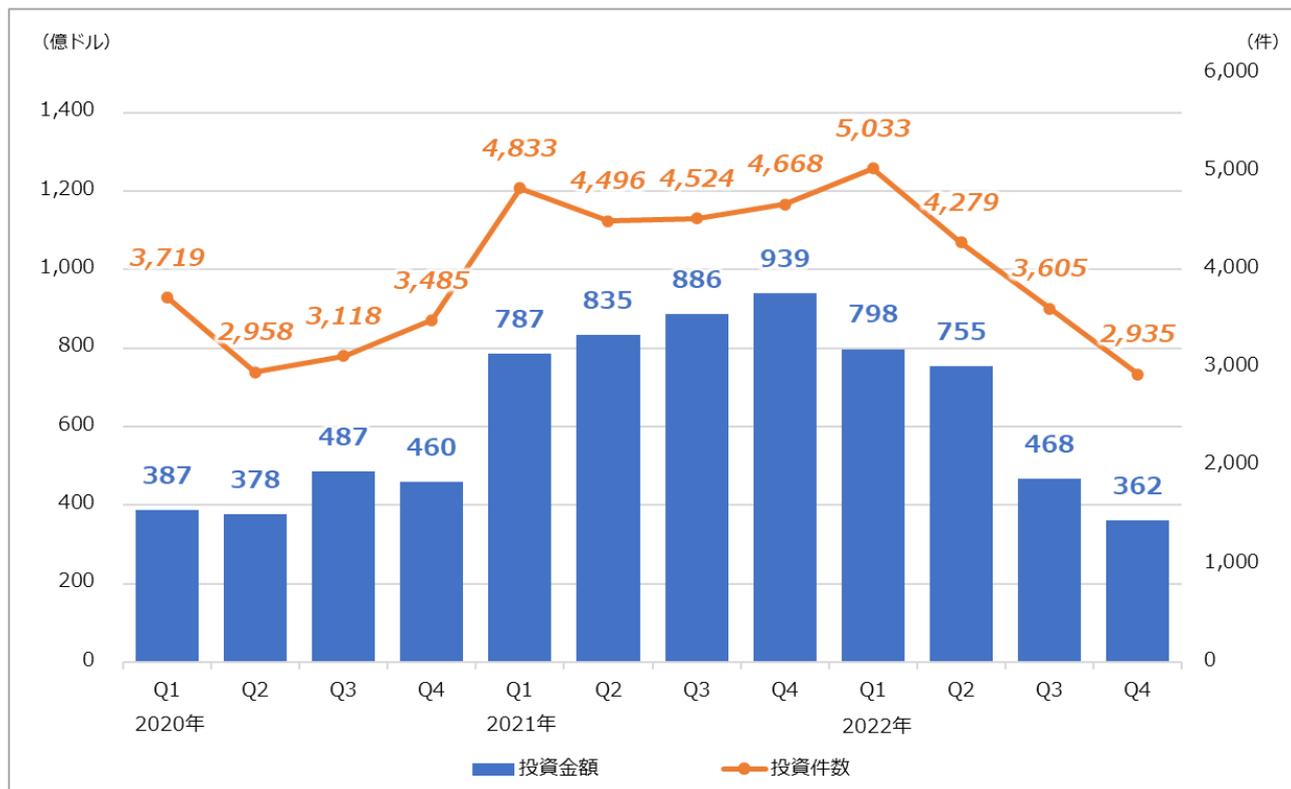
(出所：Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

2020年からのコロナ下の3年間の四半期別投資動向を図表2に示す。

四半期別投資金額は、2021年Q4に既往ピークの939億ドルを記録したのち、ウクライナ問題に端を発した経済停滞と米国の金利上昇を受けて、2022年Q1から4四半期連続で急速に減少し、2022年Q4のVC投資金額は362億ドルと、コロナ前の水準に戻っている。

投資件数についても、ほぼ同様の推移を示している。

図表2 四半期別VC投資推移（2020年Q1～2022年Q4）

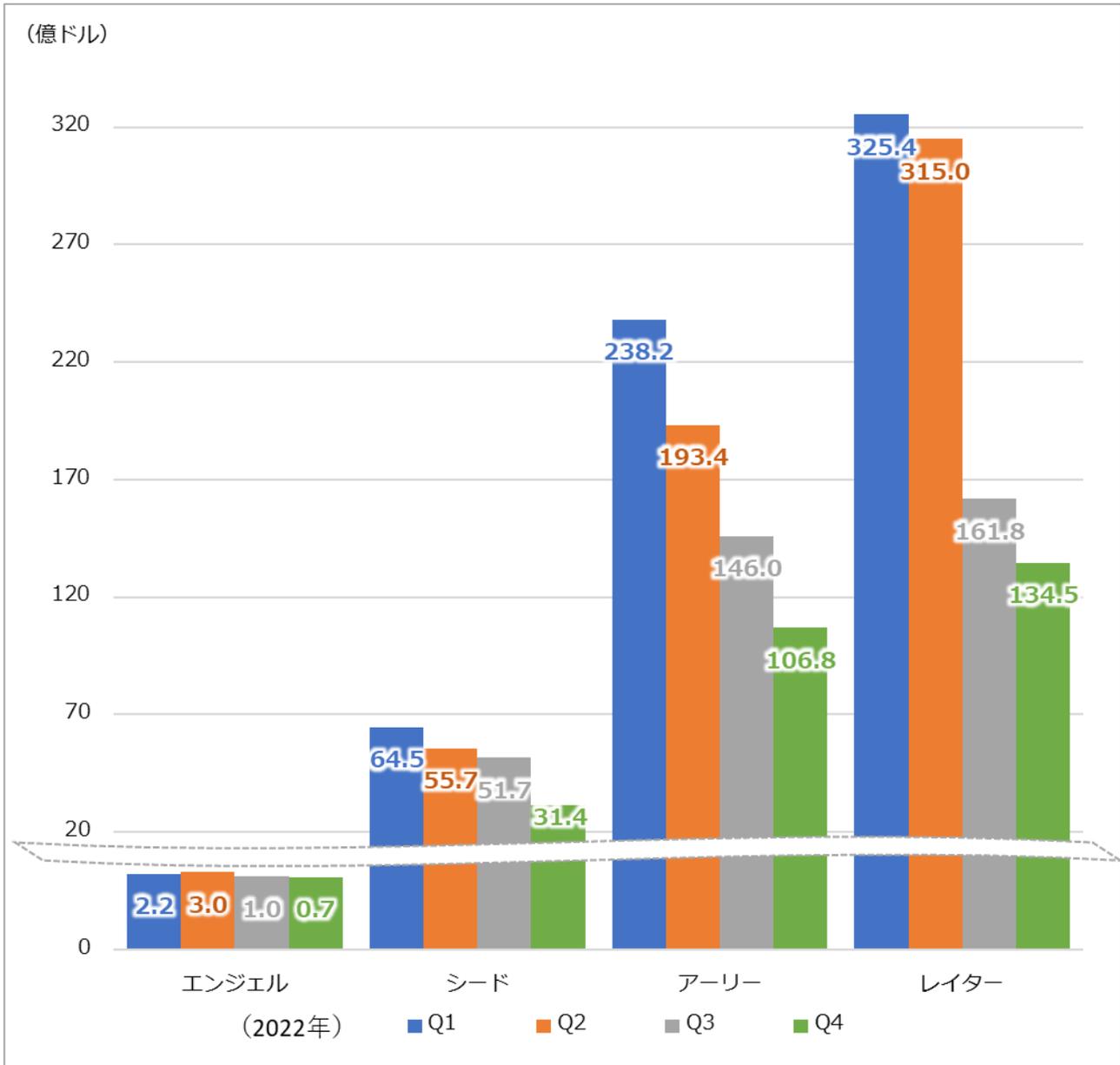


(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

## (2) 2022年のステージ別 VC 投資動向（四半期推移）

図表 3 に 2022 年のステージ別投資金額の推移を四半期ごとに示す。エンジェル、シード、アーリー、レイターすべてのステージにおいて、2022 年 Q4 の投資金額は Q1 の 5 割以下となっている。

図表 3 ステージ別 VC 投資金額推移（2022 年 Q1～Q4）

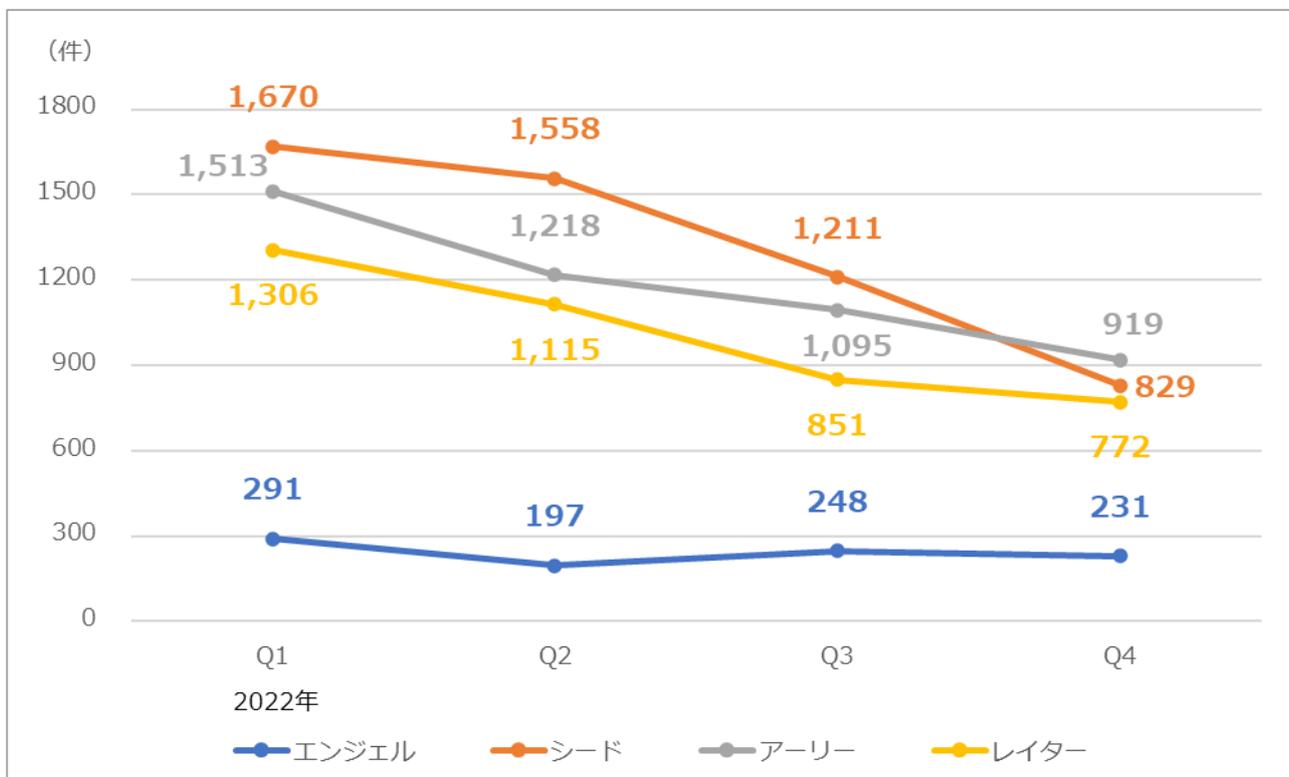


（出所：Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成）

（注）四半期ごとの全ステージの投資金額の合計は、図表 2 の対応する各四半期の投資金額とは一致しない

図表 4 は 2022 年のステージ別投資件数の推移を四半期ごとに示したものである。  
 ほぼ横這いのエンジェル・ステージを除き、他の 3 つのステージの投資件数は一様に減少している。

図表 4 ステージ別投資件数推移 (2022 年 Q1~Q4)



(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

(注) 四半期ごとの全ステージの投資件数の合計は、図表 2 の対応する各四半期の投資件数とは一致しない

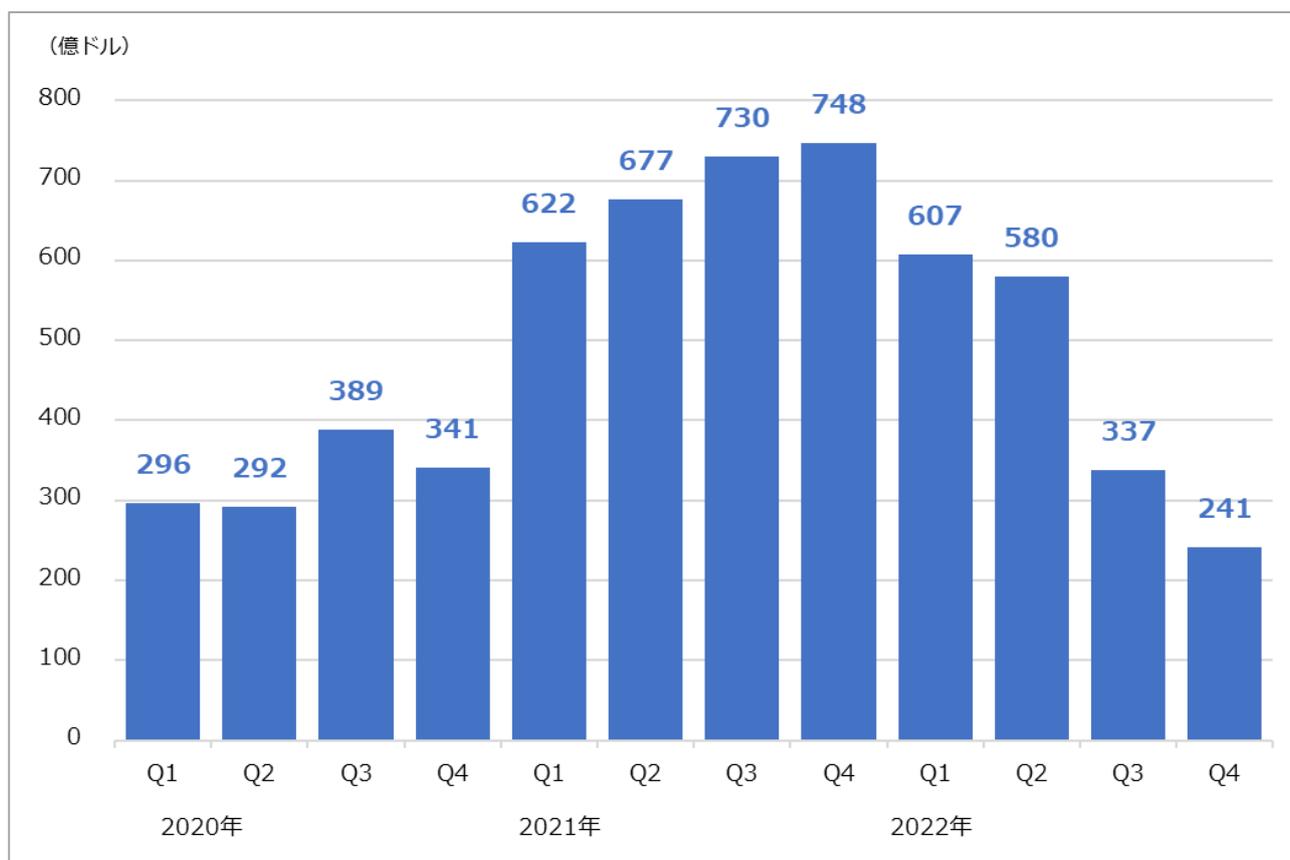
### (3) NTI (非伝統的投資家) の投資も急落

2022年のNTI<sup>(注)</sup>による投資も前年比急落している。これを四半期別にみると、図表5に示すように、2022年Q4の非伝統的投資家が関与した投資案件総額（VC等、他の投資家による投資も含む）の241億ドルは、四半期ベースの数字としては過去3年間で最低である。

なおVenture Monitorによれば、投資金額の減少だけでなく、非伝統的投資家の参加者数も、2021年の5,330人から、2022年は4,617人と13.4%減少したとのことである。

(注) NTI (Non-Traditional Investor) には、事業法人、CVC、PEファンド、バイアウトファンド、グロースファンド、メザニンファンド、ミューチュアルファンド、ヘッジファンド、クロスオーバー投資家などが含まれる

図表5 NTIが参加した投資案件の四半期別投資金額推移（2020年Q1～2022年Q4）

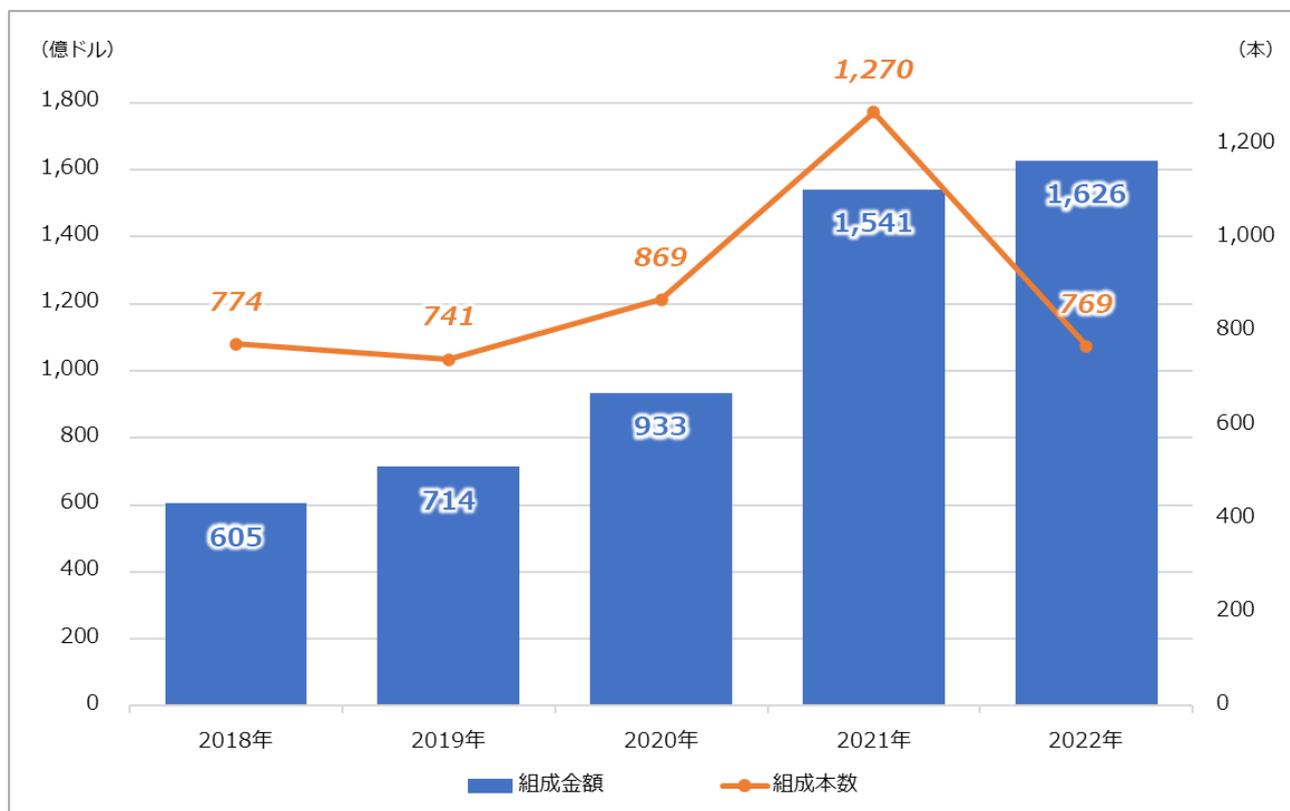


(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

## 2. VC ファンド組成動向

図表 6 に示すとおり、2022 年のファンド組成本数は 769 本と前年の 1,270 本から大きく減少した。一方、ファンド組成金額は 1,626 億ドルと前年の 1,541 億ドルを上回り既往ピークを更新している。

図表 6 ファンド組成推移 (2018 年~2022 年)



(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

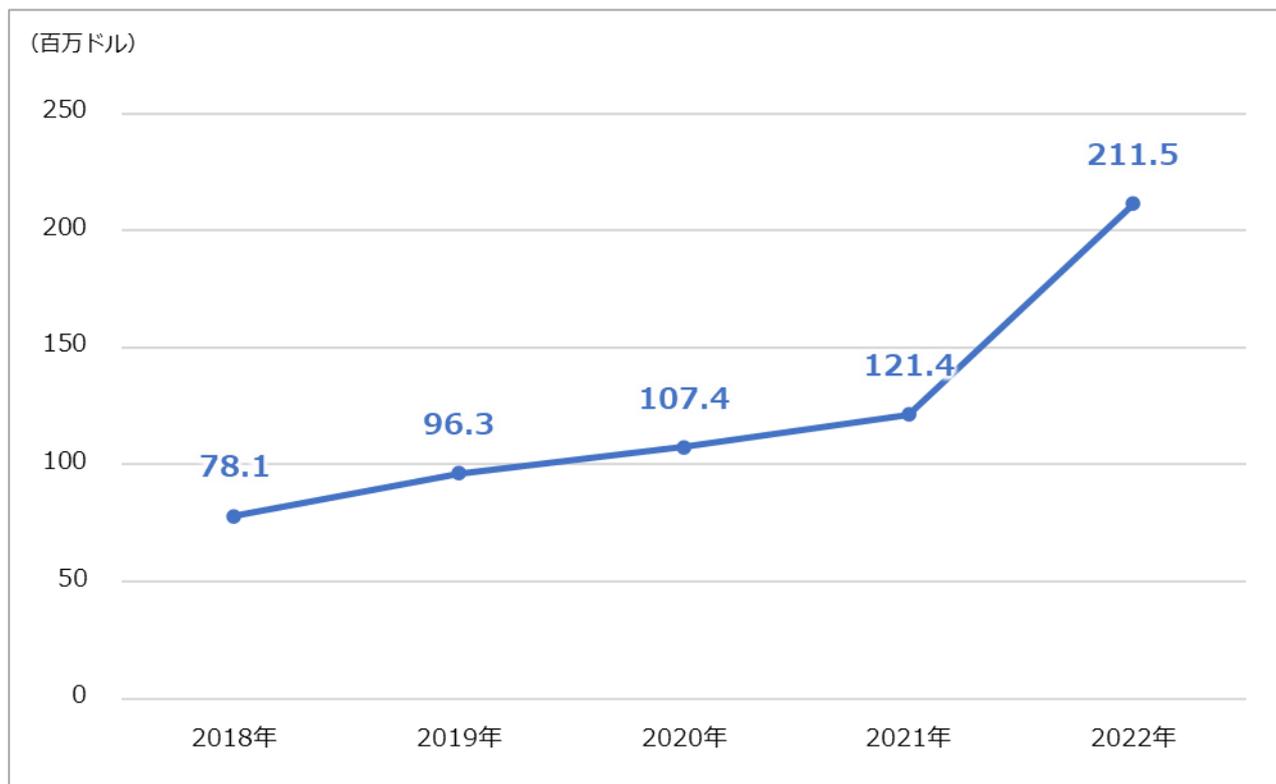
図表 6 のデータから過去 5 年間の平均ファンド組成額を算出して、その推移を図表 7 に示した。2022 年の平均ファンド組成額は 211.5 百万ドルに達し、前年までの水準から大きく突出していることがわかる。

Venture Monitor は、2022 年のファンド規模の大型化の要因として次の 2 点を挙げている。

- ① 2022 年は、コミット額 10 億ドル以上の大型ファンドが 35 本組成され、2021 年に記録した既往ピークの 25 本を上回ったこと
- ② なかでも 2 本の 100 億ドル以上の超大型ファンドで 227 億ドルが組成され、総ファンド組成額の 14% を占めたこと

ただし、そうした超大型ファンドは 2022 年 Q4 には組成されていないことから、2023 年のファンド組成金額は 4 年ぶりの低水準となる可能性があると言っている。

図表 7 平均ファンド組成額の推移 (2018年～2022年)



(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

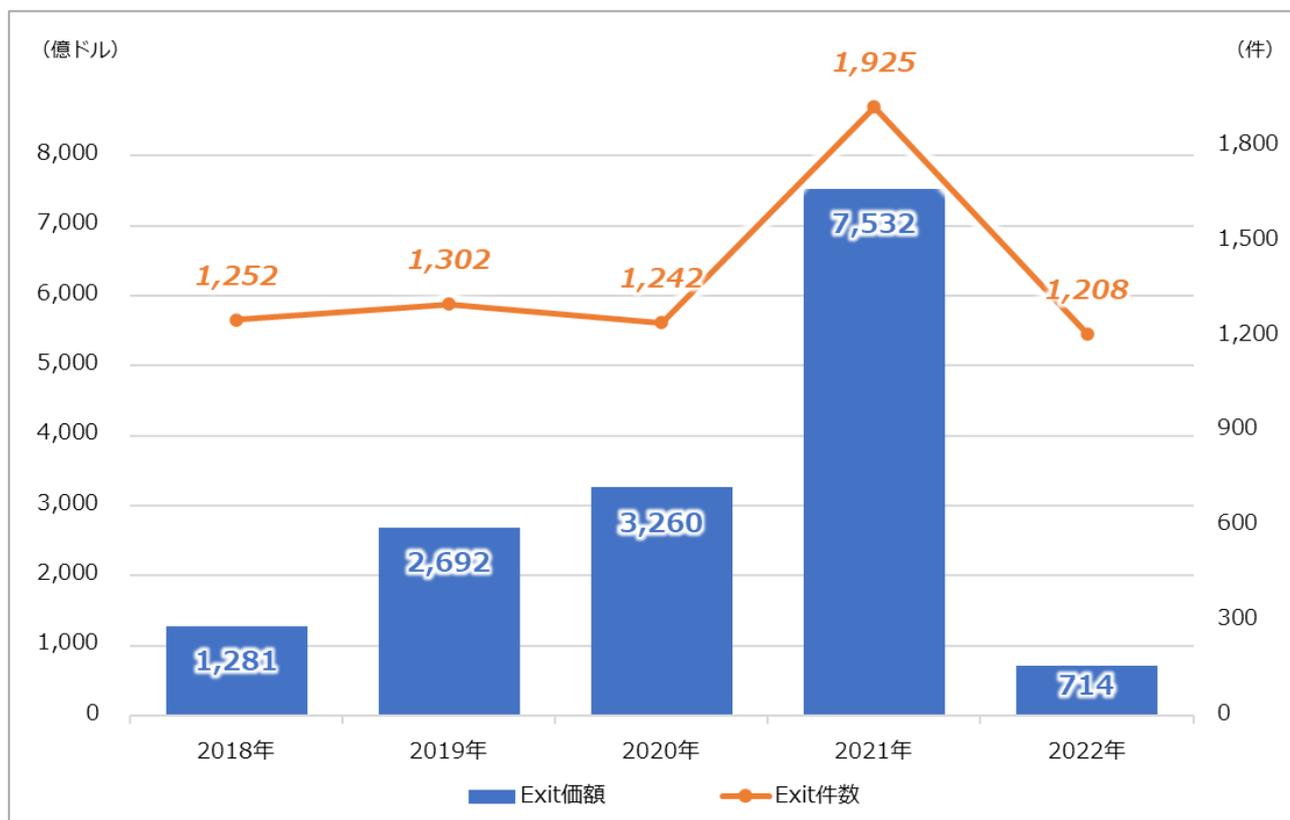
### 3. VC 出資先企業の Exit 動向 (IPO、M&A いずれも低調)

VC 出資先企業の直近 5 年間の Exit の推移を図表 8 に示す。

2022 年の Exit 価額<sup>(注)</sup>は 714 億ドルにとどまり、2021 年の既往ピーク 7,532 億ドルの 1 割以下にまで落ち込んでいる。

(注) Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開 (IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む) 時のプレミアムバリュエーション額 (株式公開前の段階での企業価値)、及び②買収金額が開示された M&A 金額の合計

図表 8 Exit の推移 (2018 年～2022 年)



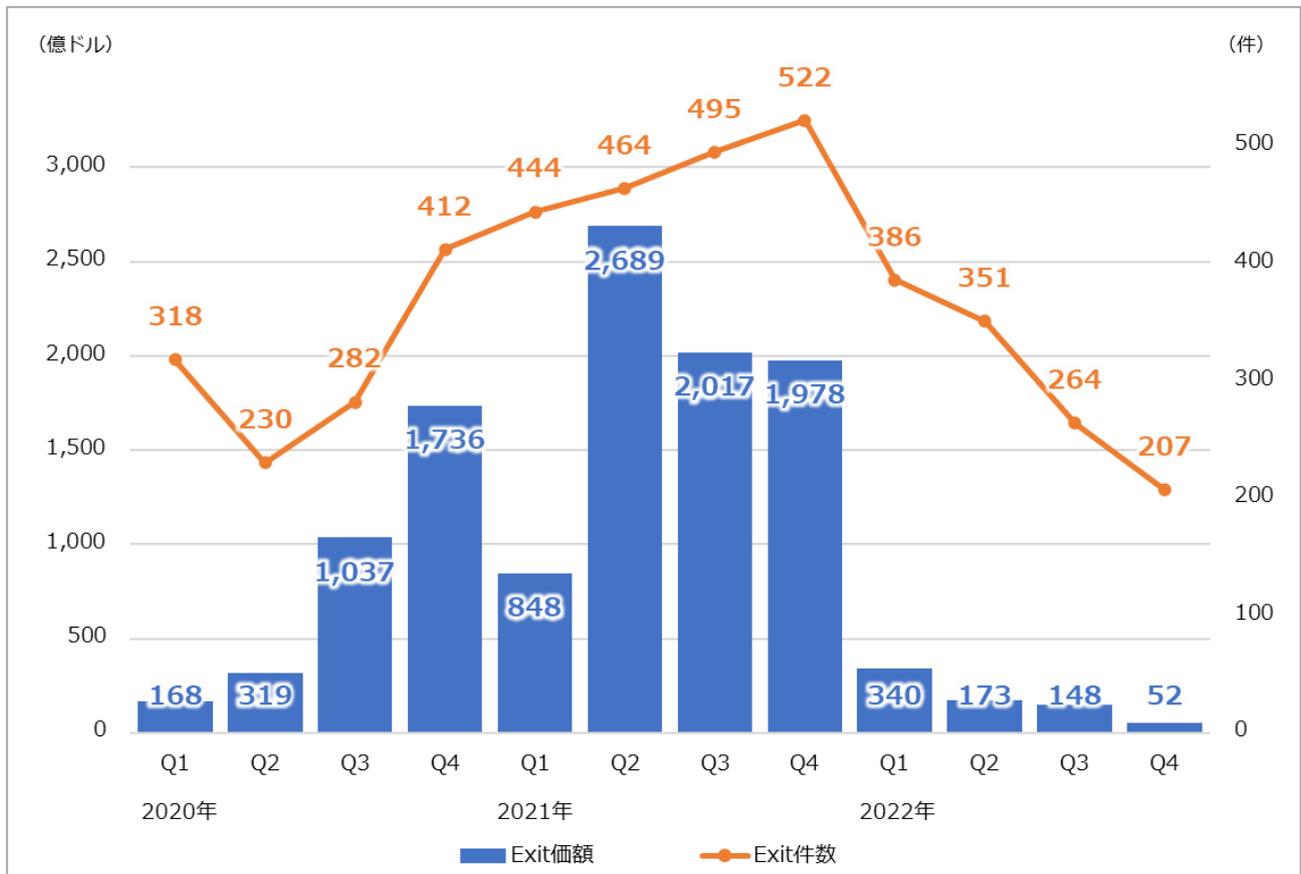
(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

2020 年からのコロナ下の 3 年間の四半期別 Exit 価額の推移を図表 9 に示す。

2022 年 Q4 の Exit 価額は、わずか 52 億ドルで、過去 10 年以上にわたって記録された四半期実績のなかで最低の数字である。

なお、Venture Monitor によれば、VC 出資先企業の IPO は、2022 年 Q4 はわずか 14 件と、これまでにない水準にまで減速している。同様に M&A についても、2022 年 Q4 の M&A 金額は約 7 億 6,300 万ドルで、四半期の実績が 10 億ドルを下回ったのは、ここ 10 年以上では初めてのことである。

図表 9 四半期別 Exit の推移 (2020 年 Q1~2022 年 Q4)



(出所 : Venture Monitor Q4 2022、VEC 作成)

以 上